

2011 年の「日本内視鏡外科学会雑誌」も本号が最後を飾ります。2011 年は震災があり東北地方およびその震災の影響をお受けになった方には一日も早い復興をお祈り申し上げます。直接的には影響なかった会員の皆様も学会の中止・延期や今夏の節電事情等、少なからず影響があったものと思われます。

そんな中で 2011 年の本誌は毎月平均約 15 編の投稿がありました。投稿数は増えてはおりますが、採択率は本年約 50%以下と若干低下しております。ご投稿いただきました論文の約 8 割は症例報告でありました。どの論文も先生方の貴重な経験に基づいた症例ではありますが、たとえば単孔式でただ単に手術をしているだけの症例報告の場合、その疾患に特殊性がなかったり、手術報告数が多い場合などは残念ながら不採用となってしまいます。その際、本誌は内視鏡外科に特化した雑誌であることより、より多くの症例を経験したうえで手術内容を中心にまとめていただき「手術手技」または「私の工夫」欄に投稿していただければと思います。先生方の貴重な症例および手術手技を広く会員に提示していただき、日本における内視鏡外科のレベルを高く維持することが必須であると思われます。本誌は基本的に投稿論文で成り立っておりますので、本誌を日本内視鏡外科の知識獲得および技術向上のツールとなるべく、先生方に育てていただければと思います。

本号は「私の工夫」「手術手技」が各 1 編、「症例報告」が 13 編の構成になっております。やはり消化器外科の先生方からの論文が圧倒的に多く、さらに胸部外科、女性診療科、泌尿器科など、内視鏡外科を実践されている先生方からのご投稿をお待ち致しております。

最後に 2011 年は辛抱の年でありましたが、本年をステップの年としていただき、2012 年は大きくジャンプできる年としていただきたく存じます。皆様方の輝ける 2012 年をお祈り致します。

(近藤幸尋)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 16 巻 第 6 号) 2011 年 12 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価：会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 2,940 円 (本体 2,800 円 + 税 5%) となります。

2011 年 年々ぎめ予約購読料：17,160 円 (税込) (配送料：医学書院負担)

編集・発行：日本内視鏡外科学会 (代表：北野正剛)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 18 階

日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1302 E-mail : jses @ convention.co.jp (担当：野上)

<http://www.jses.or.jp>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 18 F-1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2011, Printed in Japan

発 売：株医学書院 (代表：金原 優) (本誌担当：土田, 田村, 安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/><http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail : jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷株 ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 株文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●原著

腹腔鏡補助下胃切除における予防的ドレーン留置の意義窪田 健・他 癌研究会有明病院外科
シュミレータを用いた腹腔鏡下胆嚢摘出術の技術評価高 賢樹・他 亀田総合病院外科
特発性血小板減少性紫斑病に対する腹腔鏡下脾臓摘出術日暮愛一郎・他 産業医科大学第一外科

●手術手技

単孔式腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術における縫合・結紮の手技亀山哲章・他 国際親善病院外科

●症例報告

腹腔鏡下手術が有用であった魚骨穿通による回腸炎症性肉芽腫の 1 例青松直撥・他 府中病院外科
Morgagni 孔ヘルニアに対して単孔式腹腔鏡下修復術を施行した 1 例石井 要・他 黒部市民病院外科
後螺旋型合流胆嚢管に Mirizzi 症候群を発症した急性胆嚢炎に腹腔鏡下胆嚢摘出術を
施行した 1 例高野 裕・他 社会福祉法人同愛記念病院外科
術前診断に苦慮した肝血管筋脂肪腫に対して腹腔鏡下肝部分切除術を
施行した 1 例戸田孝裕・他 国立がん研究センター東病院上腹部外科
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術で用いた金属性コイル式タックの遅発性脱落による
術後イレウスの 1 例齊藤健太・他 刈谷豊田総合病院外科
腹膜透析患者に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した 1 例松橋延壽・他 岐阜県総合医療センター外科
腹腔鏡下に切除した大腸平滑筋肉腫の 1 例東島 潤・他 徳島大学医学部外科
急性壊疽性虫垂炎術後に発症した腸石を伴うメッケル憩室炎の
1 例似鳥 修弘・他 国際医療福祉大学三田病院外科

海外文献抄録山本 学／北川雄光・他

他に症例報告が数編あります。但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。